

令和8（2026）年度
徳島大学大学院医学研究科（博士課程）

（第3次）学生募集要項

（一般・社会人・外国人留学生）

徳島大学

令和8(2026)年度 徳島大学大学院医学研究科(博士課程) (第3次)学生募集要項

■アドミッション・ポリシー

【全学】

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○博士後期課程及び博士課程

- ・広い視野と高度な専門知識・技能を身につけ、自立して研究を遂行し後進を指導する能力、又は当該専門的な職業を牽引できる卓越した能力を修得しようとする人
- ・高い倫理観と強固な責任感、独自の発想力や豊かな創造力、広範な応用力、深い洞察力をもって、地域と国際社会の発展のために高度に貢献しようとする人
- ・高度な国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度専門分野を牽引しようとする人

【医学研究科】

医学研究科博士課程では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

●求める人物像

- ・医学・生命医科学に対する興味と情熱に溢れ、その研究に意欲を燃やすことのできる人
- ・深い探求心を持ち、高度先進医療の開拓に意欲を有する人
- ・卓越した臨床能力を身につけて、地域医療に貢献する意欲を有する人
- ・高度専門医療人として国際貢献することに意欲を有する人

【博士課程／医学専攻／博士（医学）】

医学専攻では、先端的な医学・生命医科学の研究活動に必要な高度の研究能力と豊かな学識を備えた研究者ならびに医療の高度化に寄与しうる高い専門知識・能力を持った臨床医を育成し、個性的な研究を進めるとともに生命倫理を尊重し、活力のある大学院として医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目的としています。このような目的に基づき、つぎのような人を求めています。

●求める人物像

(知識・技能、関心・意欲)

- ・医学・生命科学に対する高度な専門知識を身につけ、自らの問題意識を持って主体的に医学上の未解決の問題を解決すべく、意欲と情熱を持って取り組むことができる人

(思考力・判断力・表現力等の能力)

- ・生命倫理を尊重し、ユニークな発想力や広範な応用力をもち、独自の研究成果を国内外に発信することができる人

(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

- ・国際的視野を有し、世界をリードする研究成果を発信し、高度先進医療の開拓に貢献しようとする人

●入学者選抜の基本方針

- ・個別学力試験では、英語の読解力・表現力及び専門分野に関する知識・技能を評価します。
- ・面接では、試問試験を含み、主として知識技能、関心・意欲、思考力・判断力・表現力、主体性、協働性を総合して評価します。

(社会人入試) その他に、社会人大学院生としての志望動機、就学環境、大学院修了後のビジョンについても評価します。

I 募集人員

定員 51 人 今回募集人員 37 人

専攻名	領域等名	分野名
医学専攻	発達予防医学	機能解剖学、小児科学、産科婦人科学、細胞生物学、消化器内科学、メディカルAIデータサイエンス、公衆衛生学、医療教育学、総合診療医学、生体防御医学、微生物病原学
	神経情報医学	顕微解剖学、生理学、精神医学、脳神経外科学、生体機能学、医療情報学、薬理学、麻酔・疼痛治療医学、腎臓内科学、救急集中治療医学、臨床薬理学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、臨床神経科学
	再生修復医学	分子病理学、消化器・移植外科学、低侵襲・遠隔治療学、心臓血管外科学、泌尿器科学、循環器内科学、疾患病理学、放射線医学、呼吸器・膠原病内科学、胸部・内分泌・腫瘍外科学、法医学、皮膚科学、運動機能外科学、形成外科学
	生体制御医学	生化学、血液・内分泌代謝内科学、遺伝情報医学、分子機能解析学、糖尿病学、細胞情報学、分子生命科学、動物資源研究、免疫系発生学、病態シグナル学
	酵素・プロテオミクス医学	感染症病態代謝学、生体情報統御学
	宇宙ライフサイエンス学 (連携講座)	宇宙医学

(注) 出願者は、志望する分野を一つ選んでください。ただし、第2志望まで志望することができます。

II 出願資格

- 1 入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とします。
 - (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学の医学、歯学又は修業年限6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び令和8年3月31日までに卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（医学、歯学又は修業年限6年の薬学又は獣医学を履修した者に限る）及び令和8年3月31日までに授与される見込みの者
 - (3) 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき、文部科学大臣が指定した者

下記注1参照

- (8) 大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し、本大学院が、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に規定する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年4月1日までに24歳に達する者

注1 文部科学大臣の指定した者とは、次の各号の一に該当する者です。

- ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学及び歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
- ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で大学院又は専攻科において、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ④ 大学（医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注2 出願資格(8)(9)及び注1の③（修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者を除く）④により出願しようとする者は、事前調査が必要となりますので、令和8年1月9日（金）までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当まで申し出てください。

2 社会人入試

上記の(1)～(5)、(7)、(9)のいずれかに該当し、病院、教育・研究機関、企業等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有し、所属長の受験許可を受けた者とします。

III 出願期間と受付場所

1 出願期間 令和8年1月23日（金）から2月2日（月）まで（土・日曜日を除く。）

2 受付場所 〒770-8503

徳島市蔵本町3丁目18番地の15

徳島大学蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当

電話（088）633-9649

受付時間は、毎日9時から17時まで。郵送・持参とも2月2日（月）までに必着のこと。

注) 安全保障輸出管理について

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受け入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/CCR/active/IP/yusyutsukanri/>

IV 出願手続

1 提出書類等

入 学 願 書	所定の用紙に必要事項を記入したもの（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4cm、横3cmの写真をはること。）
受 験 票	所定の用紙に必要事項を記入したもの（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4cm、横3cmの写真をはること。）
成 績 証 明 書 (学部及び大学院)	出身大学（学部）長が作成した成績証明書 (出願資格(1)に該当する者は学部のみ。)
卒業（見込）等証明書	最終学歴の卒業・修了（見込）証明書 出願資格(2)に該当する者については、独立行政法人大学評価・学位授与機構が発行した証明書を添付すること。また授与される見込みの者は、学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書又は学士の学位の授与を申請した旨の証明書を添付すること。
検定料払込証明書	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込の後、受領した「検定料払込証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学所定の様式）にはって提出すること。ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を修了し、引き続き進学する者及び国費外国人留学生は不要。 なお、海外在住の志願者については、クレジットカード（VISA、JCB、Master Card、AMERICAN EXPRESS 等）又は中国銀聯カードによる払い込みが可能です。海外からの出願方法等については「X 徳島大学留学生ポータル」を参照ください。
受 験 許 可 書	現に大学院（博士課程・博士後期課程）に在学中の者は、所属長が作成（様式随意）したもの 官公庁、会社等に在職中の者は、所定の用紙を用い本人の勤務する職場の所属長が作成したもの
住 民 票 の 写 し	本邦に在留する外国人留学生は、住民票の写しを添付すること。
返 信 用 封 箱	長3形封筒に110円切手をはり、自己の住所・氏名・郵便番号を明記したもの（願書を直接持参する者は不要）
あ て 名 票	本要項に添付の所定用紙に郵便番号、住所、氏名を明記してください。

社会人入試

- 修士課程を修了した者は、選考の際、評価の参考とする場合があるので、修士論文、又はこれに代わる研究概要を所定の用紙を用い、2,000字程度にまとめてください。
なお、関連した論文の別刷又は学術講演、特許等がある場合はコピーを添付してください。
- 研究業績を有する者は、選考の際、評価の参考とする場合があるので、所定の用紙（研究業績目録）に記入してください。
なお、関連した論文の別刷等のコピーを添付してください。

2 手 続

- (1) 入学志願者は、出願手続に必要な書類を取りそろえ、出願期間内に提出してください。

- (2) 上記提出書類を郵送する場合は、「書留」とし、封筒に「大学院医学研究科入学願書在中」と朱書きするとともに、一般、社会人、外国人留学生の別も明記してください。
- (3) 出願資格(8)に該当する者は「在学証明書」、「成績証明書」及び「推薦状（所属大学の専任教員が記載したもので密封したもの）」を、出願資格(9)及び注1の③（修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者を除く）④に該当する者は「最終学歴の卒業等証明書」、「入学試験出願資格認定審査調書（本研究科所定の用紙）」及び「研究業績調書（本研究科所定の用紙）」に論文の別刷等を添付し、それぞれ令和8年1月9日（金）までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当に提出してください。

V 入 試 方 法

入学者の選抜は、学力検査、面接の結果及び成績証明書を総合して判定します。

1 学力検査等

- (1) 検査科目 外国語（英語）、志願する分野の専門科目による筆記試験及び面接
(2) 日 時 令和8年2月19日（木）9時から

外国語（英語）	専 門 科 目	面 接
9：00～10：30	11：00～12：00	13：00～

- (3) 場 所 徳島大学大学院医学研究科 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

2 成績証明書 出身大学（学部）長が作成した成績証明書を審査し、選抜判定の資料とします。

VI 障がいのある入学志願者について

本研究科に入学を志願する者で、障がいのある者は、受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、令和8年1月9日（金）までに蔵本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当まで申し出てください。

なお、上記以外の者で配慮を必要とする者もあらかじめ本研究科に相談してください。

VII 合 格 者 発 表

合格者の発表は、令和8年3月9日（月）午前9時に医学部掲示板に掲示、徳島大学医学部のHPに掲載するとともに、合格者には本人宛文書により、通知します。

なお、電話による合否についての照会には応じません。

VIII 入 学 手 続

入学手続期間及び入学手続きの詳細については、合格通知時に通知します。

IX 入学料・授業料

1 入 学 料 282,000円〔予定額〕

ただし、本学大学院博士前期課程または修士課程を令和8年3月に修了し、引き続き進学する者については、不要です。

2 授 業 料 前期分 267,900円〔予定額〕 年間 535,800円〔予定額〕

- (1) 授業料の納付については、申し出により前期分の納付の際に後期分も併せて納付できます。
(2) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
(3) 入学料及び授業料は現行の金額であり、改定されれば改定額が適用されます。

X 徳島大学留学生ポータル

徳島大学ホームページに、外国に住んでいて徳島大学へ留学を希望している方のために開設した「徳島大学留学生ポータル」サイトがあります。

学部・大学院の概要、教員・研究者紹介、入学までの手続、各種奨学金、留学生宿舎、就職・

進路などを説明しています。徳島大学を知るための参考としてください。

徳島大学留学生ポータル (<http://www.tokushima-u.ac.jp/isc/admission/>)

XI その他の

- (1) 入学願書受付後は、提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。
- (2) その他の経費（医学部後援会費等）として、入学手続の際に約45,000円が必要です。本学部出身者は一部不要な経費があります。
- (3) 募集要項を郵便で請求するときは、350円切手をはった自己あて（住所・氏名・郵便番号明記）の返信用封筒（角2封筒 33.2cm×24.0cm）を同封の上、本学藏本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当へ申し込みしてください。（請求の際は「医学研究科（博士課程）学生募集要項請求」と明記してください。）
- (4) 出願手続き等に質問があれば、110円切手をはった自己あて（住所・氏名・郵便番号明記）の返信用封筒を同封の上、本学藏本事務部医学部学務課第一教務係医学研究科担当へ照会してください。

徳島大学大学院医学研究科要覧

(令和7年12月)

専攻名	領域等名	大講座名	分野名	教授名
医学専攻	発達予防医学領域	発生発達医学	機能解剖学	富田江一
			小児科学	漆原真樹
			産科婦人科学	岩佐武
		病態予防医学	細胞生物学	米村重信
			消化器内科学	高山哲治
		社会環境医学	メディカルAIデータサイエンス	渡邊謙吾
			公衆衛生学	森岡久尚
			医療教育学	赤池雅史
			総合診療医学	八木秀介
			生体防御医学	安友康二
	神経情報医学領域	情報統合医学	微生物病原学	野間口雅子
			顕微解剖学	寺井健太
			生理学	吉田盛史
			精神医学	沼田周助
			脳神経外科学	高木康志
	感覚情報医学	病態情報医学	生体機能学	親泊政一
			医療情報学	廣瀬隼
			薬理学	池田康将
			麻酔・疼痛治療医学	田中克哉
			腎臓内科学	脇野修
	再生修復医学領域	器官病態修復医学	救急集中治療医学	大藤純
			臨床薬理学	石澤啓介
			眼科学	三田村佳典
			耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	北村嘉章
			臨床神経科学	和泉唯信 松井尚子(※)
	再生修復医学領域	生体防御腫瘍医学	分子病理学	(選考中)
			消化器・移植外科学	(選考中)
			低侵襲・遠隔治療学	(選考中)
			心臓血管外科学	秦広樹
			泌尿器科学	古川純也
	再生修復医学領域	感觉運動系病態医学	循環器内科学	佐田政隆
			疾患病理学	常山幸一
			放射線医学	原田雅史
			呼吸器・膠原病内科学	西岡安彦
			胸部・内分泌・腫瘍外科学	滝沢宏光

専攻名	領域等名	大講座名	分野名	教授名
医学専攻	生体制御医学領域	生体制御医学	生 化 学	(選考中)
			血液・内分泌代謝内科学	松岡 賢市
			遺伝情報医学	森野 豊之
			分子機能解析学	堀川 一樹
			糖尿病学	松久宗英
			細胞情報学	小迫英尊
			分子生命科学	齋尾智英
			動物資源研究	松本高広
			免疫系発生学	大東いずみ
			病態シグナル学	水谷清人
酵素・プロテオミクス医学領域	酵素・プロテオミクス医学	宇宙ライフサイエンス学	感染症病態代謝学	木戸博
			生体情報統御学	坂口末廣
			宇宙医学	池田康将

※担当教授（分野に属して大学院生の指導を行うことができる。学位授与に関しては分野に一人の主任教授が責任を持つ。）

※ 募集要項を（冊子）を取り寄せて作成してください。

徳島大学大学院医学研究科入学願書（令和8年度）

（一般・社会人・外国人留学生）

	1 次
	2 次

志 願 者	ふりがな				※受験番号	
	氏名					男・女
	生年月日	昭和 平成	年	月		日生
	本籍	都・道・府・県				
受 験 資 格	大学		学部	学科		
	昭和 平成 令和	年	月	卒業 卒業見込		
	大学院		研究科 教育部			
	課程		専攻			
昭和 平成 令和	年	月	修了 修了見込			
職 歴	昭和 平成 令和 年 月～ 年 月					
	昭和 平成 令和 年 月～ 年 月					
	昭和 平成 令和 年 月～ 年 月					
	昭和 平成 令和 年 月～ 年 月					
	昭和 平成 令和 年 月～ 年 月					
	昭和 平成 令和 年 月～ 年 月					
現 住 所	〒	一			方	
	県	郡 市	町			
電 話	市外局番 ()		番			
携 帯	—	—				
分 野 名	第1志望					
	第2志望					

(注) 必要事項を記入し、該当事項を○で囲むこと。（※印欄は記入しないこと。）

令和8年度	
受 験 票 (一・社・外)	
徳島大学大学院医学研究科	
受 験 番 号	※
氏 名	
志望 順位	分 野 名
I	
II	
写 真 貼 付 (縦4cm 横3cm)	
枠に合わせて 写 真 を は る (縦4cm、横3cm)	
(1) 本票は、常に携帯し、入学の手続を完了するまで保存すること。 (2) 本票は、試験の際机上に置いて、係員に提示すること。 (3) 本票は、面接の時にも、係員に提示すること。 (4) 本票は、係員の請求があれば何時でも提示すること。	

受 験 番 号	※
---------	---

受験番号	※
------	---

受験許可書（社会人選抜）

氏名

昭和
平成 年 月 日生

上記の者が、令和8年度徳島大学大学院医学研究科博士課程（社会人選抜）の入学試験を受験することを許可します。

なお、本人が貴大学大学院医学研究科に入学した場合は、在職したまま在学することを認めます。

令和 年 月 日

徳島大学大学院医学研究科長 殿

所在地

所属機関

所属長

印

※印欄は、記入しないでください。

研究概要（社会人選抜）

氏名		※受験番号	
題目			

※印欄は記入しないこと。

研究業績目録（社会人選抜）

氏名	受験番号	※
学術論文、研究発表・報告、称 特許等の名稱	発行又は 発表の年月日	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称
		備考 (共同著者名又 は共同発表者名)

(注) 1 年代順に記載のこと。また、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。
2 ※印欄は、記入しないこと。

受験番号	※
------	---

令和8年度
徳島大学大学院医学研究科

入学試験出願資格認定審査調書

氏名	現職	
生年月日(年齢) 昭和 年月日生(歳)	現住所	
年月日	学歴	
	年月日	事項
	年月日	職歴
	年月日	事項
	年月日	学会及び社会における活動等 事項
	年月日	

※印欄は記入しないこと。

研究業績調書（その1）

第一志望	分野	受験	※
第二志望	分野	受験	番号
勤務期間	勤務先	主な職務内容	
職歴			

研究計画に関する過去の職務内容（1,000字以内）

※印欄は記入しないこと。

研究業績調書（その2）

第一志望	分野	氏名	受験番号
第二志望	分野		
学術論文、研究発表・報告、特許等の名称	発行又は発表の年	発行所、学会等の名称	※著者(共同発表者名)
	月	発表雑誌等の名称	又は共同発表者名
	日		

- (注) 1 年代順に記載のこと。また、学術論文等は、別刷又は写を添付すること。
2 ※印欄は、記入しないこと。

模擬料の扱いについて

- 1 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行及び郵便局の窓口から払い込んでください。(ATMは、使用しないでください。)

2 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行及び郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)

3 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書(出願用)」を必ず受領してください。

4 「検定料払込証明書(出願用)」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して願書に添付して提出してください。

5 この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

切り取り

00		払込取扱票									
		振替払込請求書兼受領証									
		検定料払込証明書(出願用)									
口座記号番号											
0 1 6 3 0 - 0 - 9 2 5 3 5											
金額											
3 0 0 0 0											
加入者名		料金									
国立大学法人 德島大学		特殊取扱									
令和8年度医学研究科(博士課程) 検定料											
通信欄											
切り取らないで郵便局にお出し下さい。											
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。											
志願者		志願者									
おところ(郵便番号 ※		おなまえ ※									
おなまえ		様									
(電話番号 - -)		日附印									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号徳第4381号)											
これより下部には何も記入しないでください。											
日附印											



七七七

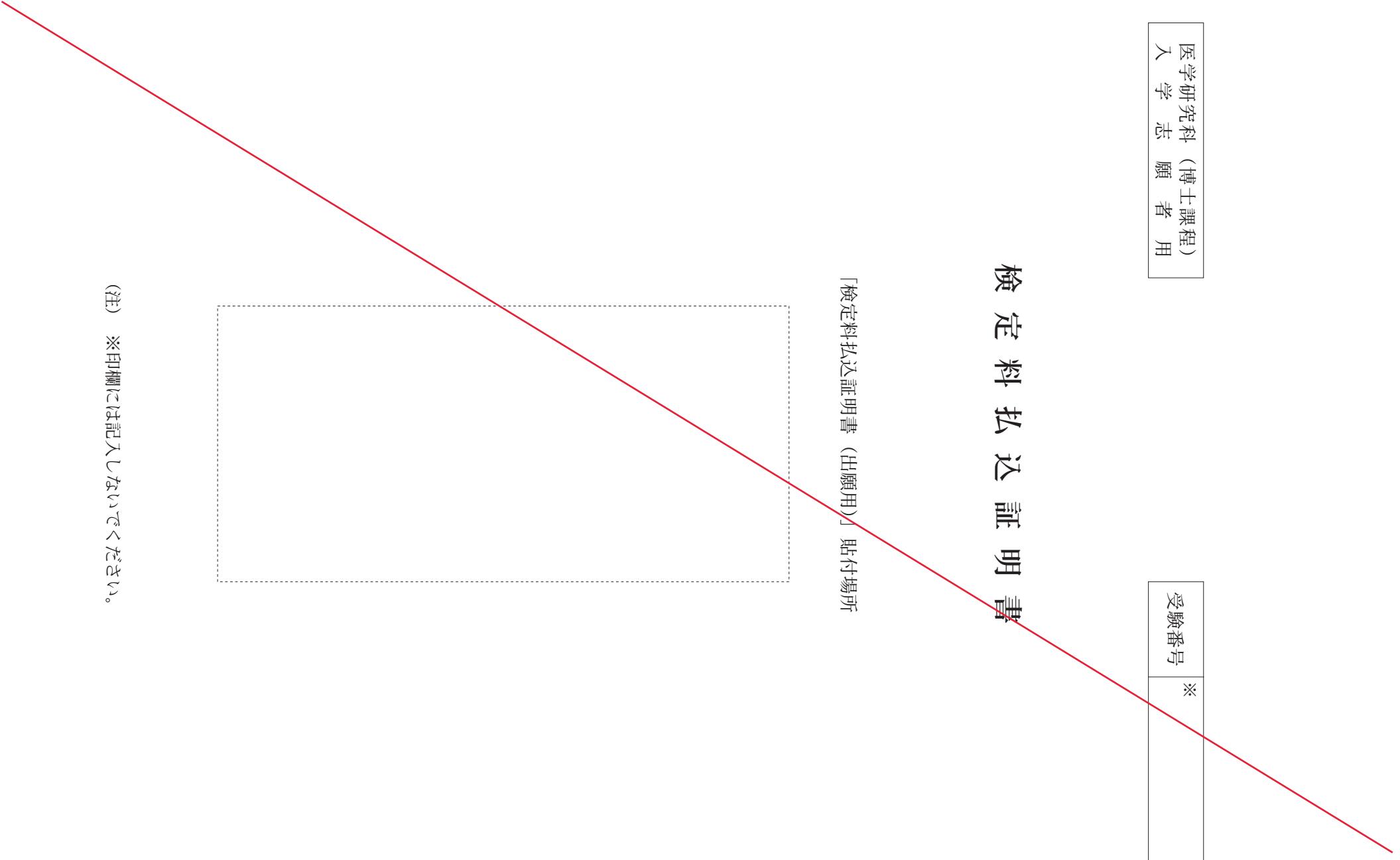
(二) 王思

医学研究科（博士課程）
入学志願者用

受験番号
※

検定料払込証明書

「検定料払込証明書（出願用）」貼付場所



A large red 'X' is drawn across the entire page, covering the signature area and the rectangular stamp area.

(注) ※印欄には記入しないでください。

あて名票

合格通知等を受け取る住所、氏名、郵便番号を3箇所に記入すること。
団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は、「○○様方」と詳しく記入すること。

なお、出願後、又は合格発表後、住所変更した場合は、速やかに届け出ること。

住所 -
合格通知等用→

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

住所 -

合格通知等用→
(予備:上記と同じ
あて名を記入すること)

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

住所 -

入学手続案内用→
※必ず受け取ること
ができる住所
を記入すること

氏名

殿

受験番号（大学記入欄）

【徳島大学位置図】

交通アクセス

◎鉄道
JR岡山駅 = 湘戸大橋線約1時間 JR高松駅 = 高徳線約1時間10分 JR徳島駅

約2時間

```

graph LR
    Kyoto[京都] --> Nishioita[西尾道]
    Nishioita --> Osaka[大阪]
    Nishioita --> Shimonoseki[下関]
    Shimonoseki --> Matsuyama[松山]
    Matsuyama --> Tokushima[徳島]
    Matsuyama --> Takamatsu[高松]
    Matsuyama --> Kochi[高知]
    Matsuyama --> Sasebo[佐世保]
    Tokushima --> JRTokushima[JR徳島駅前]
  
```

【徳島大学蔵本地区建物配置図】

徳島市営バス乗場案内 (JR徳島駅から試験場へ)		
のりば	行 先	備 考
1	中央循環線(右回り) 上島喰	[県立中央病院・徳島大学病院前] 下車 徒歩 3分 又は「総合メティカルゾーン」 下車 徒歩 2分
	名東、地蔵院、 天の原西(延命)	[医師部前] 下車 徒歩 2分
待合室からJR徳島駅まで約4.1km		

